



# 第**91**期 中間報告書

平成28年4月1日▶平成28年9月30日

**サンデンホールディングス株式会社**

証券コード：6444

## Contents

トップメッセージ	1
決算ハイライト(連結)	2
セグメント別概況	3
連結財務諸表	4
活動の成果	5
株式の状況/会社概要	裏表紙
株式についてのご案内	

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第91期中間報告書（平成28年4月1日から平成28年9月30日）をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

世界経済は、中国経済の減速傾向が続いているものの、先進国を中心に緩やかな回復基調となりました。米国では、雇用や個人消費の改善が継続したことにより堅調な景気回復が続きました。欧州では、英国の欧州連合（EU）離脱等に伴う不透明感はあるものの、引き続き緩やかに回復しました。

一方、我が国経済においては、金融緩和は継続しているものの、消費の低迷に加え為替の円高や新興国経済の減速等による企業収益への影響など、先行き不透明な状況となっております。

このような環境下、当社グループは、「品質力とグローバル力を軸に環境から企業価値を創造する」という経営方針のもと、重点基本戦略である「環境技術を軸とした売上成長」、「体質改革による事業競争力強化」、「経営システム改革による経営革新」に積極的に取り組んでまいりました。

当社は、グループの総力をあげて「抜本的構造改革」（P6参照）を実行し、グループ企業価値の最大化を図ってまいり所存ですので、皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

#### 第2四半期の業績概要について

当第2四半期連結累計期間は、国内市場の縮小や円高影響等により、前年同期に比べ減収・減益となりました。当社では、この状況を早急に打開し、グローバルにおける事業競争力を一層強化していくために、全社一丸となって「抜本的構造改革」に取り組み、その関連費用を当第2四半期連結累計期間に計上しております。

また、平成29年3月期の連結業績予想につきましては、円高による為替換算の影響に加え、国内における流通システム事業の販売減少、並びに将来の事業成長に向けた抜本的構造改革の実施に伴う特別損失の計上等により、売上高280,000百万円、営業利益5,000百万円、経常利益3,500百万円、親会社株主に帰属する当期純損失3,000百万円に修正いたしました。

#### 配当について

当社は株主の皆様に対する利益還元を重要な経営方針の一つとして位置付けており、連結業績に応じた利益配分を基本とし、連結配当性向30%を目途に安定的かつ継続的な配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。これまでは、期末配当予想を1株につき15円としておりました。

しかしながら、誠に遺憾ではありますが、平成29年3月期の期末配当予想につきましては、当期の業績予想及び財務の状況等を勘案し、無配とさせていただく予定です。



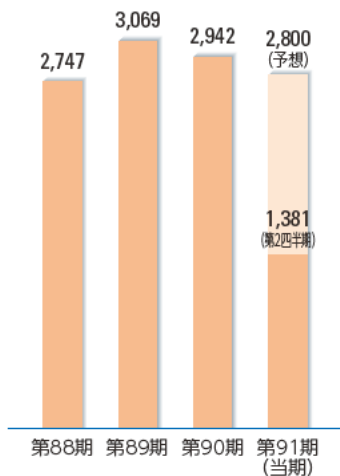
代表取締役社長

神田 金栄

平成28年12月

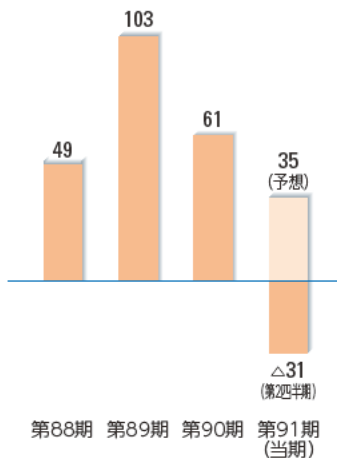
売上高 1,381億円 (連結)

(単位:億円)



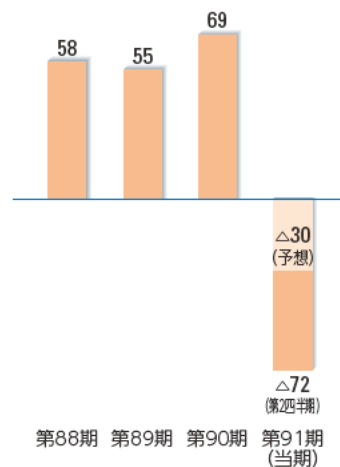
経常利益 △31億円 (連結)

(単位:億円)



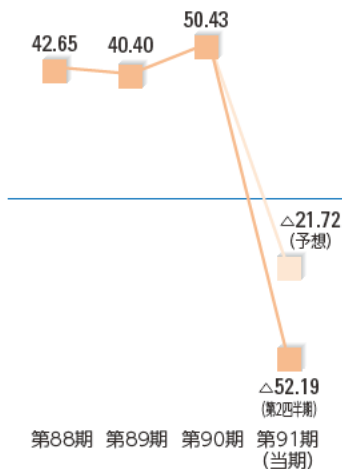
親会社株主に帰属する当期純利益 △72億円 (連結)

(単位:億円)



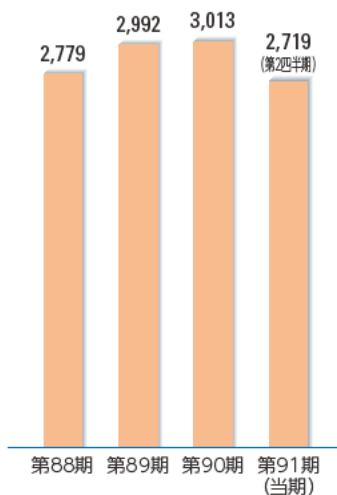
1株当たりの当期純利益 △52.19円 (連結)

(単位:円)



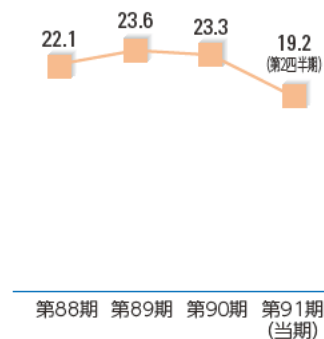
総資産 2,719億円 (連結)

(単位:億円)



自己資本比率 19.2% (連結)

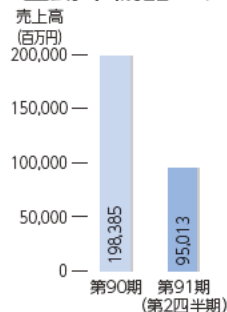
(単位:%)



(注)「総資産」「自己資本比率」の期末予想は公表しておりません。

サンデンには、事業として3つの柱があります。  
すべての事業が「環境」をコアに事業活動を行っております。

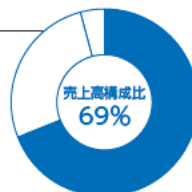
### 自動車機器システム事業



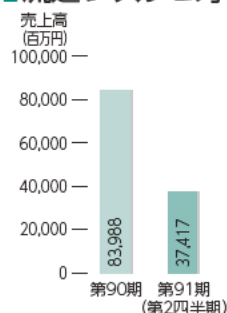
世界中の自動車メーカーや、農機・建機メーカーにカーエアコンシステム、コンプレッサーおよび熱交換器類のコンポーネントを開発・生産・供給しております。

世界の一流自動車メーカーに、当社のコンプレッサーが採用されております。

環境技術のリーディングカンパニーとして、ハイブリッド車・電気自動車への対応や、省エネ・低燃費の環境製品の開発に取り組んでおります。



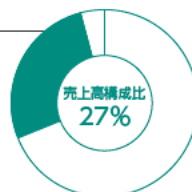
### 流通システム事業



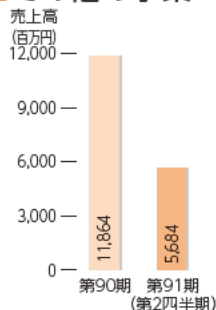
飲料や食品などの自動販売機、コンビニエンスストア他などで使われている冷凍・冷蔵ショーケースを開発・生産・供給しております。

LED照明を標準搭載したノンフロンヒートポンプ自動販売機は、2011年より業界No.1の省エネ性能を実現し続けております。また当社独自の自然冷媒CO<sub>2</sub>システムを搭載したショーケースを開発し、グローバルで生産、販売を進めております。

その他、コンビニエンスストア等の店舗展開戦略、スクラップ&ビルド戦略に欠かすことのできない、機器のメンテナンスや整備・再利用についても、他に先駆けて取り組んでおります。

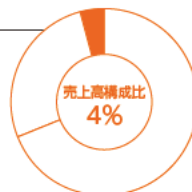


### その他の事業



空気の熱を利用する自然冷媒CO<sub>2</sub>ヒートポンプ給湯機や温水暖房機の開発・生産・販売、様々な業界での活用が期待される無線通信モデムなどのICT関連事業も行っております。

特に自然冷媒CO<sub>2</sub>ヒートポンプシステムは、2010年よりオーストラリア・ヨーロッパ市場へ供給を開始するなど、グローバルで給湯・暖房の省エネシステム事業の展開に取り組んでおります。



## 第2四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 平成28年9月30日現在	前期末 平成28年3月31日現在
<b>●資産の部</b>		
流動資産	150,844	172,961
固定資産	121,141	128,363
有形固定資産	83,702	89,555
無形固定資産	4,568	4,906
投資その他の資産	32,869	33,901
<b>資産合計</b>	<b>271,985</b>	<b>301,325</b>
<b>●負債の部</b>		
流動負債	152,205	158,593
固定負債	62,666	67,228
<b>負債合計</b>	<b>214,871</b>	<b>225,821</b>
<b>●純資産の部</b>		
株主資本	58,305	67,584
資本金	11,037	11,037
資本剰余金	3,747	3,747
利益剰余金	44,728	54,021
自己株式	△ 1,207	△ 1,221
その他の包括利益累計額	△ 6,012	2,513
その他有価証券評価差額金	2,595	2,496
繰延ヘッジ損益	△ 33	△ 147
為替換算調整勘定	△ 7,238	1,464
退職給付に係る調整累計額	△ 1,335	△ 1,299
非支配株主持分	4,820	5,405
<b>純資産合計</b>	<b>57,113</b>	<b>75,503</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>271,985</b>	<b>301,325</b>

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

## 第2四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	前第2四半期累計 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
売上高	138,116	149,587
売上原価	114,593	123,755
売上総利益	23,522	25,831
販売費及び一般管理費	24,486	23,589
営業利益又は営業損失(△)	△ 964	2,242
営業外収益	2,148	2,935
受取利息	31	40
受取配当金	99	105
持分法による投資利益	1,666	2,317
その他	350	472
営業外費用	4,315	1,902
支払利息	1,134	1,380
為替差損	2,583	67
その他	597	454
経常利益又は経常損失(△)	△ 3,132	3,276
特別利益	632	471
特別損失	3,998	291
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 6,498	3,456
法人税等合計	378	867
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 6,876	2,588
非支配株主に帰属する四半期純利益	331	246
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 7,208	2,341

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	前第2四半期累計 平成27年4月1日～ 平成27年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,073	4,070
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,465	△ 6,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	348	574
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,188	17
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,231	△ 1,978
現金及び現金同等物の期首残高	17,482	20,588
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,250	18,609

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

# 活動の成果

2016年4月1日～9月30日の当社グループの取り組み、社外からの評価についてご紹介いたします。

4月

5月

6月

## ◆CVS向け「アイスコールドマシン」市場展開（コカ・コーラ）



### ◆東京本社移転

サンデングループは、東京本社を千代田区 外神田へ移転しました。

## ◆VENDITALIA Vending Exhibition ミラノ展示会出展



ベースステーション



温湿度センサー

## ◆e-mesh moderno提供開始（クラウドベースの温湿度モニターサービス）

食品安全管理等、今後需要が見込まれる分野に向けて、IoT技術を用いたクラウドベースの温湿度モニターサービスを開始しました。

## TOPICS

第9回事務・販売・サービス部門全日本選抜QCサークル大会で「タイムズスクエアサークル」が金賞を受賞



## サンデン女性技術者交流会リコチャレ\*を開催

※女子学生の理工系分野への活動を応援する内閣府が中心となっている取り組み



7月

8月

9月

◆ASEAN 4ヶ国の新規  
CVS向けショーケース供給開始

◆CO<sub>2</sub>ヒートポンプ給湯機  
米国 市場導入

◆第9回STQM世界大会開催  
サンデンフォレスト・赤城事業所



◆IPC開発・供給開始  
(スカニア・ダイムラー・ボルボトラック  
向けパーキング時用空調システム)

アイドリングストップ規制の厳しい欧州において、トラックメーカー向けに、駐車時でも使用できる空調システムを開発しました。



◆環境大臣賞受賞  
(オゾン層保護・地球温暖化防止大賞)

「小型店舗向け冷凍機内蔵型/別置型CO<sub>2</sub>システムの開発と実用化」の成果に対し、環境大臣賞を受賞いたしました。



## 抜本的構造改革

抜本的構造改革の目的は、現在の市場環境の中で、当社が抱える経営課題を解決し、今後のグローバルにおける事業競争力を一層強化することにあります。2017年度以降の成長につながる高収益体質を作り上げることを目指し、取り組んでおります。

- 1 事業ポートフォリオの見直しによる成長事業への投資の集中
- 2 拠点・組織の統廃合・再編による合理化
- 3 人員の適正化と最適配置による組織の活性化
- 4 サプライヤーの集約によるグローバル競争力の強化
- 5 投資の選択と集中による投資効率の向上
- 6 経費の抜本的な見直しによる効率化
- 7 財務体質改革によるキャッシュ創出力強化

- 発行可能株式総数 396,000,000株
- 発行済株式総数 140,331,565株
- 株主数 12,318名
- 大株主

株主名	持株数	持株比率
サンデン取引先持株会	7,585千株	5.41 %
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,097	4.34
株式会社みずほ銀行	5,088	3.63
株式会社群馬銀行	5,087	3.63
大同生命保険株式会社	3,471	2.47
サンデン従業員持株会	3,447	2.46
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,854	2.03
BBH BOSTON FOR GMO FOREIGN SMALL COMPANIES FUND (常任代理人株式会社三菱東京UFJ銀行)	1,888	1.35
天田 清之助	1,754	1.25
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1,652	1.18

商号	サンデンホールディングス株式会社
東京本社	東京都千代田区外神田一丁目18番13号 秋葉原ダイビル TEL. 03-5209-3231
本社	群馬県伊勢崎市寿町20番地 TEL. 0270-24-1211
設立	昭和18年7月30日
資本金	11,037百万円

## 役員

代表取締役会長	牛久保 雅 美	常勤監査役	高 橋 貢
代表取締役社長	神 田 金 栄	監査役 (社外)	湯 方 一 郎
取締役副社長	榊 原 努	監査役 (社外)	松 木 和 道
取締役副社長	マーク ウルフィグ		
取締役副社長	西 勝 也		
常務取締役	小 高 充 了		
常務取締役	島 崎 誠 二		
常務取締役	牛久保 隆 平		
取締役	横 室 年 男		
取締役	丸 山 慎 治		
取締役	梅 村 信 裕		
取締役 (社外)	尾 崎 英 外		
取締役 (社外)	法 木 秀 雄		

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	1,000株
公告方法	当社のホームページ < <a href="http://www.sanden.co.jp">http://www.sanden.co.jp</a> > に掲載する。 ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞および上毛新聞に掲載する。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>

## 【株式に関する住所変更等のお届けおよびご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

## 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

